

ウェブアプリケーション開発グローバルPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年08月22日 ～2022年09月03日	ベトナム	ハノイ理工科大学	・情報工学科 ・学部2年生、学部3年生	(芝浦工業大学) 学生12名、教員2名 (ハノイ理工科大学) 学生10名	福田 浩章(情報工学科)、中島 毅(情報工学科)



#システム開発 #日本×ベトナム グローバルPBL実施

PBLのチーム作業の様子

2022年8月21日から9月4日まで、ベトナム、ハノイに出張し、学生の引率およびPBLプログラムの指導を実施した。本PBLプログラムは情報工学科の福田教授、株式会社サンアスタリスクと実施し、情報工学科の学生12名、ハノイ工科大学の学生10名が参加している。本PBLプログラムは、Python言語、およびフレームワークであるFlaskを利用したウェブアプリケーション開発をテーマにしており、現地に行く前にオンラインミーティングを8回行い、参加者の顔合わせとグループ分けを行い、チームごとにオンラインで、Python、Flask、GitHubの教材をグループ単位で学習した。そのため、開発のための知識の習得とチームの意思疎通がそれなりにとれる状態になってチーム開発をスタートできた。

PBLでは、Sun*社の木村さん(HUST講師兼務)を中心に開発の進め方を指導いただいた。「コミュニケーション活性化」をテーマに、各チームは自由に発想しWebアプリケーションのシステム提案、要件定義、設計を経てプログラム開発を進めた。中間発表でシステムのコンセプトについて発表、我々教員が評価・コメントを行い、それに基づきプログラム開発を日程後半で完成させる。最終日に成果物に関してプレゼンテーションを行った。審査には、サンアスタリスク社の有識者も審査員に加わった。斬新なアイデアと実現方法に、質疑は大いに盛り上がった。

7日目の土曜日に半日の市内観光を行い、仏教・儒学・キリスト教の史跡をバスで巡った。この見学にはベトナムの学生も多数参加してくれるホスピタリティを示してくれ親交が深まった。また、9日目には、日本人が起業したベンチャー企業Capchiを訪問するとともに、その社長の起業に関する講演を聞かせていただいた。Sun*の日本人とベトナム人の技術者の講演も盛り込んでいただいた。ベトナムのベンチャー企業の活発なビジネスの息吹を感じるよい機会となった。

HUST側学生は、日本語とITを学ぶコースの履修者であるため、講義およびコミュニケーションは日本語を中心に行った。彼らは日本語ネイティブでないためコミュニケーションはスムーズではなく、また文化的な背景が異なる。その中でチームとしてどう議論しタスクを分担しあうかを試行錯誤することは良い経験になったと感じた。



Sun*社技術者の講演



HUSTでの模擬講義参加



最終発表会



Capchi社訪問



市内見学